



【高校生看護体験 記事3面】

## 目 次

●3階東病棟リニューアル	2
●話題の広場	
高校生一日看護体験	3
言語聴覚の日	3
●ねっとわーく	
菅沼病院	4
医療機器(検査機器)共同利用について	5
PET検査機器を更新しました	5
●総合防災訓練	4~5
●がん相談支援センターからのお知らせ	6
●「かかりつけ医紹介窓口」を設置しました	7
●レントゲン博士の独り言	8
X線撮影(レントゲン撮影)の昔と今	
●職場紹介	8
飯田市訪問看護ステーション	
●新任医師の紹介	8

### 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

### 飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さん中心の医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、介護、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくります
- ⑤私たちは、公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

### 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意 をもって医療を実践します



# 3階東病棟 リニューアルについて



3階東病棟は、7月中旬にリニューアル工事が完了し、7月24日に3階西病棟から移転しました。整形外科・救急科・皮膚科病棟を担当しており、手術が必要な急性期から、リハビリや在宅介護の支援などを行う退院支援期まで、安心して入院治療を行っていただけるように、また、リハビリの継続が必要な場合は、近隣の回復期リハビリ病院への転院に向けて、日々、患者さんの支援をさせていただいています。

新病棟は、トイレやシャワー室の増設、全面クッションフロアの採用、木目調のデザインを取り入れた温かみのある雰囲気であり、機能面・安全面に配慮した設計となっているため、過ごしやすい空間となりました。



ゆったりとしたスペースを確保し、床はクッションフロアとし安全性を考慮しました。



広く使いやすい多目的トイレを増設しました。手すりの位置も検討し、設備も充実したものになりました。

木目調のデザインを施し、やわらかな雰囲気の室内です。



7月30日と8月9日の両日、高校生一日看護体験を行いました。

30日は35名、9日は33名の高校生の皆さんにご参加いただくことができました。

参加いただいた高校生の方からは、「普段見ることのできない場所を見ることができ、知ることのできないことをたくさん教えていただくことができ、とても有意義な時間を過ごすことができた」「周産期センターと手術室を見学することができてうれしかった」などの意見を多数いただくことができました。



それぞれ1日という短い時間でしたが、病院で働く看護師やその他医療職の仕事を理解いただけたことと感じています。

今後の進路選択の一つとして、医療職を目標にさせていただき、夢を叶えていただきたいと思います。



## 言語聴覚の日

9/1

言語聴覚士をご存知ですか？当院ではリハビリテーション科で6名の言語聴覚士が働いています。

言語聴覚士は言語聴覚障害（脳卒中後のコミュニケーションや発達上のことばの障害など）や摂食・嚥下（飲み込み）に障害のある方々に指導・訓練などの専門的サービスを提供し、障害の軽減を図るとともに、より質の高い社会生活の実現に向け支援させていただく職種です。当院では、お子さんの言葉の発達に対しても支援させていただいております。

話すことも食べることも日常当たり前のように行なっていて、それがうまくいかなくなることは想像しにくいですが、とてもつらいものです。少しでも楽になるように、一緒に練習したり、手法の提案させていただきま。お困りの方はご相談ください。

また、言語聴覚士になりたいとお考えの方もお気軽にご相談ください。

リハビリテーション科 担当：清水まで

毎年9月1日は

## 言語聴覚の日

言語聴覚士は  
話す 聞く 食べるの  
専門家です！



言葉によるコミュニケーションや  
飲み込みに問題がある方々の  
日常をお手伝いし  
よりよい生活を送ることができるよう  
全力でサポートします！



コミュニケーションや食べることでお困りの方は  
言語聴覚士までご相談ください！



# 菅沼病院

(飯田市鼎中平)



## 地域の小さな病院

菅沼病院 院長 菅沼 哲夫

軍医であった筆者の父に当たる菅沼博が帰還後、鼎下茶屋松川沿いに開院したのが菅沼医院の始まりです。40年前に鼎駅近くに移転し、現在32床の病院となっています。

当院は内科・消化器内科・小児科・リハビリテーション科・腰痛・頭痛外来があります。

子どもから大人まで家族全員がかかれる病院を目指して日々診療を行っています。また、当院は女性医師が常在しており、予防医学・リハビリテーション・産業医にも力をいれています。消化器内視鏡部門ではがん研有明病院、飯田市立病院で勤務経験のある医師が、苦痛の少ない内

視鏡検査・治療を行い、簡単な手術も日帰りで行っています。

当院で診療し、急性期医療が必要な患者様は主に飯田市立病院へお願いしています。また、療養病床として市立病院の後方病院としての役割も担っています。核家族化が進む現代において、共働き家庭やお一人暮らしの高齢者も多く、市立病院で急性期を過ぎて在宅へすぐに戻れない方達にご利用いただいています。関連施設として老人保健施設(千年の緑)、特別養護老人ホーム(やまりきの郷)があり、理学療法士・介護福祉士・ケアマネージャーなど多職種と協力し皆さまのニーズに応じていきます。

これからも地域のみなさんの要望に耳を傾け、当院の理念である「温もりと安らぎのある医療」を原点に、少しでもお役に立てるよう精進していきます。お気軽に相談してください。



菅沼先生(前列中央)とスタッフの皆様

- 所在地** 〒395-0801 飯田市鼎中平1970  
☎0265-22-0532
- 診療科目** 内科 小児科 消化器内科・内視鏡科  
リハビリ科 腰痛・頭痛外来
- 診療時間** 9:00~12:30 / 15:30~18:30
- 休診日** 土曜日午後 日曜日・祝日 第2、第4水曜日午後休診
- 往診** 可
- 駐車場** あり



## 総合防災訓練



市立病院では9月1日、総合防災訓練を行いました。当院は飯田下伊那地域の災害拠点病院であり、災害医療体制を強化するために、毎年実施しています。

今年度は、「突然発生する大事故への対応強化」をテーマとし、近隣で休日夜間にバス事故が発生したという厳

## 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

## 医療機器(検査機器)共同利用について

当院は、飯伊医療圏唯一の地域医療支援病院として、高度医療機器(CT・MRI・RI・PET-CT等検査機器)の共同利用事業による地域医療連携に取り組んでいます。

これは、地域医療支援病院の医療施設および医療機器、研究部門機能、研修会等を地域の医療機関(登録医)に開放し、これらの共同利用を通じて地域全体の医療の質向上に寄与することを目的としています。

医療機器の共同利用では、疾患の早期発見が大きな目的です。地域医療機関からご紹介された患者さんの検査を迅速に行い、ご依頼元の医療機関に報告書や検査データ(CD、フィルム等)を速やかにお届けいたします。

当院は、今後も地域医療支援病院の責務として、高度医療機器の共同利用を推進していきます。

### ● H30年度検査依頼件数

CT	MRI	RI	PET-CT
411	463	32	68

## PET検査機器を更新しました

PET(PET-CT)検査機器を更新しました。従来の機器に比べ、検出器の感度が高まりました。高分解能化、検出器幅の拡大により、一度に広範囲でスピーディーな放射線の収集が可能となりますので、検査時間が短縮され、患者さんへの身体的負担が軽減されます。また、微小病変の描出能力や病変識別能力の向上により、よりクリアな画質を実現しました。地域の医療機関からの検査依頼にもしっかりと対応してまいります。



しい想定で机上訓練を実施しました。

訓練では、机上で病院内の部署を準備し、日曜日深夜にバス事故が発生したとの連絡が病院に入る場面からスタートしました。事故の連絡を受けた際には、災害対策本部の設置、診療の準備、入院場所の確保、手術の準備などを行います。また、緊急職員参集を指示し、病院の機能を強化します。災害対策本部は、消防や警察と連携し、事故情報を収集したうえで、実際に多数の重症患者を受け入れる手順を確認しました。

今回の訓練での課題や反省をまとめ、マニュアルに反映させることで、継続的に災害拠点病院としての機能を高めてまいります。

# がん相談支援センターからのお知らせ

## ◆ 9月はがん征圧月間でした

昭和35年(1960)から毎年9月は「がん征圧月間」で、がんと、その予防についての正しい知識の徹底と早期発見・早期治療の普及に取り組む月となっています。

がん相談支援センターでは、9月に飯田市立中央図書館のおすすめ展示【‘がん’を知る】でがん相談支援センターの活動を紹介させていただきました。



## ◆がんサロン<sup>ゆい</sup>結を開催しました (がんサロンは毎月第1水曜日14:00~16:00です)

### ● 9月4日(水) 「口腔ケアについて～がん治療を支える～」 講師：歯科衛生士

がんの薬物(化学)療法中に見られる口腔内のトラブルには、口腔粘膜炎(痛みや出血が伴う)や口腔乾燥(唾液の量や質が変化することで乾燥する)があります。この症状は、患者さんの生活の質を低下させるだけでなく、重篤な全身感染症等の合併症を引き起こすことがあります。その結果、治療が予定どおりに進められず、治療期間が延びたり治療を中断することもありますので、がん治療の前に歯科受診をし、正しい口腔ケアを継続的に行えるようにしましょう。



### ● 10月2日(水) 「乳がんについて」 講師：乳がん看護認定看護師

乳がんは女性の罹患(病気にかかること)するがんの第1位で、毎年罹患者数が増加しています。乳がんで悲しむ人を一人でも減らしていくために毎年10月は「ピンクリボン月間」とされています。

長野県の乳がん検診受診率は、全国に比べて低く推移しています。検診を受け、毎月自己検診(触診などの自己チェック)を行っていくことで早期発見に繋がります。乳がんは早期発見ができれば治癒が望める病気です。



○がん相談支援センターへ相談をご希望の方は…

受付時間 平日 8:30~17:15

直通電話 ☎0265-21-2010

場所 130 がん診療・緩和ケアセンター内



# 「かかりつけ医紹介窓口」を設置しました

地域医療部 地域医療連携係

飯田市立病院は地域医療支援病院として地域の医療機関と連携し、紹介患者さんを優先的に診療させていただいております。「時々入院ほぼ在宅」を実現する地域包括ケアシステムにおいて、当院は専門的な治療や特殊な検査を実施し、普段の体調管理は「かかりつけ医」をお持ちいただくようにご案内させていただいております。普段診ていただいている医師が専門的な治療や特殊な検査が必要と判断した場合は紹介状をいただき、事前に予約をしてお越しいただきます。そして必要な治療が実施できて、安定した状態に達したとき、又はご紹介いただいた目的を達成できた段階で、主治医の方から状況説明をさせていただき、今後の治療については紹介元の医療機関において継続していただくことをお話しします。そのとき、紹介先の選定についてお手伝いさせていただく場所が「かかりつけ医紹介窓口」になります。

**紹介窓口の業務**は病院稼働日の8:30から17:15に行います。中央受付横の窓口または各科外来にて相談をお受けします。主治医からの依頼で患者さんの治療の継続に対応できるように、患者さんと一緒に紹介先を選定いたします。紹介施設が決まりましたら、当院から紹介状をお送りするか、患者さんにお渡しするかを決めます。かかりつけ医受診までの内服薬や体調に関しては当院で責任を持ちます。紹介状が届いたところで、紹介先医療機関を受診していただきたいと思っております。当院へお越しいただくのは一般的には半年～2年後の予約受診か、かかりつけ医からの紹介状受診となります。それまで特別なことがなければかかりつけ医を受診して体調管理をしていただきます。普段の体調管理や異常の早期発見をかかりつけの医療機関で対応していただくことで、当院の専門的な治療を効率よく受けていただくことができます。地域の医療資源の有効活用にご理解とご協力をお願いします。今後も、地域の医療機関と連携・協力しながら医療の質とサービス向上に努め、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践してまいります。

## 「かかりつけ医」を持ちましょう



まず「かかりつけ医」の診察を受けましょう。

「かかりつけ医」の判断により「紹介状」をいただき、飯田市立病院を受診してください。

飯田医師会／飯伊地区包括医療協議会／飯田市立病院

## 地域医療支援病院 承認要件

- 原則200床以上
- 紹介率50%以上、逆紹介率70%以上
- 地域の医療従事者の資質向上のための研修を実施
- 24時間体制で救急医療を提供する能力を有する
- 重症患者を優先的に受け入れられる



## 地域医療支援病院の役割

- 1 紹介患者に対する医療の提供  
(かかりつけ医等への患者の逆紹介も含む)
- 2 救急医療の提供
- 3 医療機器等の共同利用の実施
- 4 地域の医療従事者に対する研修の実施



## X線撮影(レントゲン撮影)の昔と今



### レントゲン博士の独り言

ひと昔前のX線撮影では、撮影した後にフィルムを現像していました。ちょうどフィルムカメラと同じような原理です。時代と共にフィルムを現像する時間は短くなりましたが、フィルムをお渡しするまでに5分位かかってしまっていたため、撮影後お待たせをしまいご負担をお掛けしておりました。

近年では、DRシステム(デジタルX線画像診断装置)が開発され、当院でも平成28年にX線一般撮影装置の更新によりこのDRシステムを導入しました。DRの特徴としては、少ないX線でも高感度、高画質のレントゲン写真が得られることです。X線量は従来よりも30%ほど低減でき小児領域をはじめ各分野で被ばく低減が期待できます。撮影後の画像表示時間も約1秒と処理が短く、画像も瞬時に電子カルテに転送されます。また以前のようにフィルムをお渡しすることもなく、待ち時間も短縮できるようになりました。



### シリーズ ● 職場紹介 ● その62

### 【飯田市訪問看護ステーションの紹介】

飯田市訪問看護ステーションは、病院北側の在宅ケアステーション2階にあります。

平均年齢は51歳とやや高めですがベテラン揃いの看護師6名で、在宅の利用者90名ほどの訪問をおこなっています。訪問エリアは上村・南信濃を除く飯田市全域です。病院併設のステーションのため、医療依存度の高い方が多く、5歳の小児から100歳の高齢者まで幅広く訪問させていただいております。ご利用者の1/3は市立病院の医師が主治医ですが、2/3は地域の先生方が主治医です。また、介護保険を利用される方も多く、医師、ケアマネジャーやサービス事業者等と連携しながらご利用者・ご家族が、安心して豊かな在宅療養生活が送れるよう支援をさせていただいて

おります。連携にはインターネットによる情報共有ツール「ism-Link」を活用しています。スタッフ一人一人がモバイル端末を携帯し、病院・診療所・薬局など多職種と情報共有をしています。今後も、「家で暮らしたい」を支えますーをモットーに取り組んでまいります。



### 新任医師の紹介

令和元年7月2日～10月1日



泌尿器科

蜂谷 守

(はちや まもる)

平成29年3月卒業

令和元年8月1日着任

前勤務病院

信州大学医学部附属病院



小児科

荒井 萌子

(あらい もえこ)

平成29年3月卒業

令和元年10月1日着任

前勤務病院

信州大学医学部附属病院

### あ と が き

2015年から2度にわたり先送りとなっていた消費税増税が、10月に施行され、8%から10%に引き上げられました。今回の増税では、特定の品目に対して軽減税率(8%)が適用されるため、対象となる品目を調べておきたいものです。そうはいつても、私は買い物に慎重になってしまいそうです。

編集委員 小澤 舞子